

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	バード	Lv.1:	バード	性別	男
称号クラス				年齢	22
種族	フィルボル			境遇	親友
出自 (効果)	商人			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	6	8	9	12	12	13	8
ボーナス	2	2	3	4	4	4	2
クラス修正	0	0	0	1	2	2	1
他修正							
能力値	2	2	3	5	6	6	3

HP	34
MP	53
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	ローブ					2			
補助	マント					1			
装身具	楽器								
能力値			2	0	3	0	6	9	7
スキル							3		
その他									
総計(右)			2	0					
総計(左)			2	0	3	4	9	9	7
総計(両)			2	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	5			5	+ 2 d
アイテム鑑定	5			5	+ 2 d
魔術判定	5			5	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
mpポーション*3	
HPポーション*1	
筆記用具*1	
デス・サウザー	
ベルトポーチ	
毒消し*1	
グリモア	

現在重量: 7  
 最大重量: 13  
 所持金: 814  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックレジスト	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 作成時に魔法防御力+3								
マジシャンズマイト	1	-	パッシヴ	-	自身	自動成功	5	
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
ファイアボルト	1	6	Xジャーアクション	20	単体	魔術判定	1	
効果: 火属性 2D+10 クリティカル ダイス増加								
ジョイフルジョイフル	1	7	Xジャーアクション	20	単体	呪歌判定	3	
効果: 行動済みのキャラ未行動 SLレベル分使用可能 クリティカル コスト0								
ファイアロード	4		パッシブ				5	
効果: 火属性魔法 ダメージSL*4								
コンセントレイション	1		パッシブ		自身		1	
効果: 魔術判定+1d 集中します!								
マジックブラスト	1	4	マイナーアクション				1	
効果: メインプロセスで使用できる 単体の魔術								
ディスコード	2	4	ダメージ	20	単体	自動成功	5	
効果: 呪歌 ダメージ増加 (SI)D								
ブラフ	1		パッシブ					
効果: はったり 騙す いいくるめ 精神に+1								
モンスターロア	1							
効果: エネミー識別判定 +1d								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

低身長で小さい少年に見えるが22歳の商人。顔は種族フィルボルということもあり幼い顔をしている。明るくて活発なフィルボルにしては珍しくやや内気であるが、無口というわけではない。自分の身長ほどの大きさのデス・サウザー (バックパック) を背負って旅をしている。(名前は強くてかっこいいというイメージでつけた。) 豊稜の女神から生まれたことで、精神の一部に豊稜の神の意識が混在しているが、本人はわかっていない。ただデス・サウザーを背負っている時だけ話しかけると返してくれる。一人で旅をすることが長かったため、デス・サウザーとは親友のように慕っている。

出自: 商人  
 商人一家の一人息子だが2年前から一人で旅をするようになった。父からもらったバックパックを母が裁縫してくれた。実はこのカバンは父親が昔とある港に流されていた所を拾ったものである。なぜ背負ってる時だけこのカバンが話すかは分かっていない。

目的: 運命 (ストーリー)  
 一人旅を寂しいと思ったことはない。いつも背中にはデス・サウザーがいるからだ。今日も街から街へ商人の旅をしていた。ようやく着いたビギニングタウンで売り物は物は叩き売られてしまい所持金今日もカツカツ。お財布は寂しくても、背中の親友がいる限り不思議と不安な気持ちはなかった。今後どのような運命が待ち受けているのか、背中の不思議なカバンと共に旅の疲れを癒しに酒場へ向かった。

「バックパック2コ持っていていい?」→「これは一個だけです」→「これはおやじのもので愛着がある。名前をつけよう」→「マルノーム。ゴクリン。」→「名前決めるためにダイスふるう」→「皇帝」→「サウザー-www」→「サウザーだったら偉そうに喋りそう」→「もうこいつ喋るんじゃね?」  
 →喋る バックパック 爆誕